

手塚治虫生誕80周年記念

1928 ∞ 2008

ミュージカル

火の鳥

鳳凰編

生と死と輝きの物語

原作◎手塚治虫
演出◎栗山民也
美術◎妹尾河童
脚本◎齋藤雅文
脚本◎手塚プロダクション・角川書店
音楽◎甲斐正人
協賛◎手塚プロダクション・角川書店



2009年 6月20日(土)

開場/14:30 開演/15:00

羽村市生涯学習センターゆとろぎ
大ホール

【主催】羽村市教育委員会 【企画・運営】ゆとろぎ協働運営市民の会

写真協力:スタジオ アクア

共同制作 新宿区



全席指定

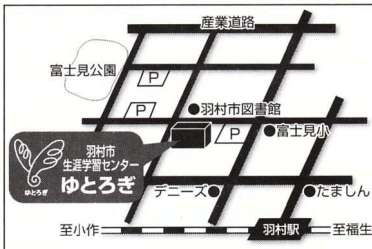
チケット発売日 4/3(金)

一般	4,000円	グループ割引(10名以上)	
小学生~高校生	2,000円	一般	3,500円
		小学生~高校生	1,500円

*当日券は残席がある場合のみ発売*未就学児入場できません*保育あり
連絡先/羽村市生涯学習センターゆとろぎ TEL.042-570-0707

チケット取扱所

- ゆとろぎチケットカウンター
月休/042-570-0707
- 羽村市スポーツセンター
月休/042-555-0033
- マルフジ各店
羽村、青梅、福生地区
- 西多摩新聞社チケットサービス
0120-61-3737





手塚治虫生誕80周年記念

1928 ∞ 2008

ミュージカル

火の鳥

鳳凰編

原作◎手塚治虫

演出◎栗山民也 脚本◎齋藤雅文 音楽◎甲斐正人

美術◎妹尾河童 衣裳◎樋口 藍 照明原案◎勝柴次朗

◎手塚プロダクション

わらび座が贈る 手塚治虫の不朽の名作「火の鳥」完全ミュージカル化

舞台は奈良時代と呼ばれた8世紀の日本。

生まれた時に火の山から転落し、片目片腕として蔑まれ、運命に怒りをぶつける盗賊・我王。永遠の生命・火の鳥の彫刻を命じられ、自らの美を追求しながら運命に苦悶する仏師・茜丸。2人の運命が交錯した時から物語は始まります。

愛する妻(天道虫の化身)・速魚を殺して絶望した我王は、命を助けられた高僧・良弁上人と諸国を巡るうちに、死や病に苦しむ人々の姿に出会い、運命への怒りを木に刻みつけることで眠っていた仏師としての才能を開花させ、運命を切り開く道を見つけました。

一方、若き日の我王に利き腕を傷つけられた茜丸は、火の鳥を探して諸国を巡り、精進の末に仏師として大成して、永遠の都の象徴である奈良・東大寺の大仏建立の責任者となりました。

時の権力者橘諸兄は、大仏殿の鬼瓦の製作を、茜丸と我王に競わせることに決め、ふたりはライバルとして再会します。仏を彫ることで運命に復讐する我王。仏を彫ることで運命に挑戦する茜丸。しかし、勝負に敗れそうになった茜丸は、我王の旧悪を暴露して、我王の残っていた右腕を切り落とさせてしまいました。そんな2人を見つめる永遠の生命・火の鳥。自己を極限まで見つめながら運命を切り開き、火の鳥という永遠の生命に導かれていく人間再生のドラマ。

「私は火の鳥 私は地球 私はすべての生命(いのち)の証し」(劇中歌より)



演出／栗山 民也

ずっと前のことになるが、「火の鳥」の黎明編と未来編を一幕、二幕として構成した一つの音楽劇を舞台化したことがある。遠い過去とこれからの未来を往還しつつ、現在を浮かび上がらせるという試みだった。それ以来「手塚ワールド」にまんまとハマってしまったのか、シャカ族の王子シッタータを描いた長編『ブッダ』も続けて手掛けた。しかしそのいづれの時も、手塚さんの願う永遠の問いかけがいつも彼方に高くそびえ立ち、必死に手を伸ばしたつもりだったが、いくつか苦しい思いが残った。

今回、わらび座の皆さんとともに、その生命の連鎖を執拗に描いた『火の鳥』全編を象徴する物語「鳳凰編」へと、さらなる高みを求めて大きくジャンプしてみようと思う。

脚本／齋藤 雅文

今だからこそ「火の鳥」を

人は死んだからといって「命」が終わるわけではない。そして、そう都合よくまた人間に生まれ変わりもしない。

だから、生きよう。精一杯、悪あがきしても、生きよう！
…手塚治虫は「火の鳥」でそう語りかけているように思えます。

「命」は、永遠のもの。自分一人で終わるわけではないのだから、と。

「火の鳥」は、手塚治虫が、我々の未来に託した、究極のメッセージです。



演出／栗山 民也

1953年、東京都生まれ。早稲田大学文学部演劇学科卒業。2000年7月より2007年8月まで、新国立劇場演劇部門の芸術監督。2005年4月からは新国立劇場演劇研究所所長、芸術選奨文部大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、毎日芸術賞千田是也賞、朝日舞台芸術賞など受賞多数。主な演出作品に「ゲッター」「エヴァ、帰りのない旅」「太鼓たたいて笛ふいて」「マリー・アントワネット」「喪服の似合うエレクラ」「ロマンス」など。オペラ「夕鶴」「喋々夫人」の演出も手掛け、小劇場、大劇場からミュージカルまで幅広く活躍。

脚本／齋藤 雅文

1954年、東京都生まれ。早稲田大学教育学部卒業。芝居、ミュージカルの数多くの作、脚本を手掛け、主な作品に「眉山」「竜馬がゆく 立志篇」(演出も)創作舞踊劇場公演「マクベス」「予言」「祭式部ものがたり」「狸御殿」「マリー・アントワネット」「大阪から来た女」「信長」「功名が辻」他。わらび座作品では、ミュージカル「棟方志功」「義経」「おくのほそ道」を手掛ける。1994年「恋ぶみ屋一葉」の再々演(作)において、第二回読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞。2007年「竜馬がゆく」において、新作歌舞伎に与えられる第36回大谷竹次郎賞受賞。

音楽／甲斐 正人

1951年、東京都生まれ。東京芸術大学作曲科卒業。音楽監督作品に「マリー・アントワネット」「モーツァルト」。オリジナルミュージカルに、宝塚「舞姫」、芝居に「冬のひまわり」「眉山」。わらび座作品では、ミュージカル「アテルイ」「よろけ養安」「銀河鉄道の夜」「義経」「天草四郎」を手掛ける。松竹映画「蒲田行進曲」の映画音楽で日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞。「虹の橋」にて日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞、おおさか映画祭最優秀音楽賞受賞。オリジナルミュージカル「出鳥」の作曲、「エリザベート」で読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。ミュージカル、芝居、舞踊の作曲、音楽、音楽監督の第一人者として活躍。

美術／妹尾 河童

1930年、神戸生まれ。現代日本を代表する舞台美術家。紀伊國屋演劇賞、サントリー音楽賞、読売演劇賞ほか多数受賞。わらび座作品では、「菜の花の沖」を手掛ける。舞台美術家のほか、エッセイストとしても知られ、「河童が覗いた〜」シリーズ「ヨーロッパ」「ニッポン」「インド」など、お馴染みロングセラーがある。近年は、小説「少年H」が300万部を突破する驚異的ベストセラーとして毎日出版文化賞・特別賞などを受賞。なお「少年H」は栗山民也演出での舞台化、フジテレビ開局40周年記念のテレビドラマで放映され「芸術祭賞」を受賞。

写真協力:スタジオ アクア



公演営業部

〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖幸田沢早稲田430

TEL 0187-44-3316 / FAX 0187-44-3318

http://www.warabi.gr.jp

わらび座 火の鳥

検索